

令和4年9月1日	
資料提供	
担当課(室)	県立紀伊風土記の丘
担当班・係	学芸課
担当者	主査学芸員 田中元浩
電話	073-471-6123

和歌山県立紀伊風土記の丘 令和4年度秋期特別展

「紀氏、大地を開く-宮井用水と耕地開発-」の開催について

- 1 名称 令和4年度秋期特別展「紀氏、大地を開く-宮井用水と耕地開発-」
- 2 会期 令和4年10月1日(土)～令和4年12月4日(日)
- 3 会場 和歌山県立紀伊風土記の丘 資料館常設展示室及び企画展示室
- 4 内容

紀氏は岩橋千塚古墳群を築き、『日本書紀』、『古事記』に朝鮮半島で活躍したことが記される古代豪族です。古墳時代以降には紀国造家として国を治める一方で、紀伊国一宮として祭祀の中心的な役割を占め日前・国懸神宮を奉斎してきました。そして中世には和歌山平野一円を神領として支配し、羽柴秀吉の紀州攻めを経てもなお、その系譜は現代にもつながります。

総延長 28 kmにも及ぶ宮井用水は、紀氏により古墳時代に築かれた「名草溝」を原形とし、現在も和歌山平野を潤してきました。宮井用水には、古墳時代以降にその延伸や取水口の変化してきた歴史があり、それに伴って流域の耕地開発が行われてきました。今回の展示では、考古資料と文献史料の展示を通じて、古墳時代から中世、そして現代まで続く紀氏と宮井用水について探ります。

5 開館時間・休館日、入館料

開館時間：9:00～16:30 (入館は16:00まで)

休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日または休日の場合は次の平日)

入館料：一般 360円 (20名以上団体割引 290円)、大学生 220円 (20名以上団体割引 160円)

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳等をお持ちの方および県内在住の留学生は無料(証明書の提示が必要)



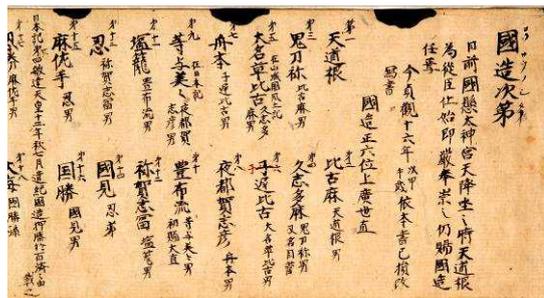
展示の見どころ1 岩橋千塚古墳群と宮井用水の原形を築いた紀氏の歴史を展示。

岩橋千塚古墳群と宮井用水の原形を築いた古代豪族紀氏の歴史を紹介します。

紀氏の系譜を表した「紀伊国造次第」や平安時代の「紀伊国造印」を、岩橋千塚古墳群を代表する古墳の資料とともに展示します。また、宮井用水がどのように形成されたのか、その謎に迫ります。



紀伊国造印 個人蔵 平安時代



紀伊国造次第 個人蔵 平安時代



天王塚古墳出土玉類

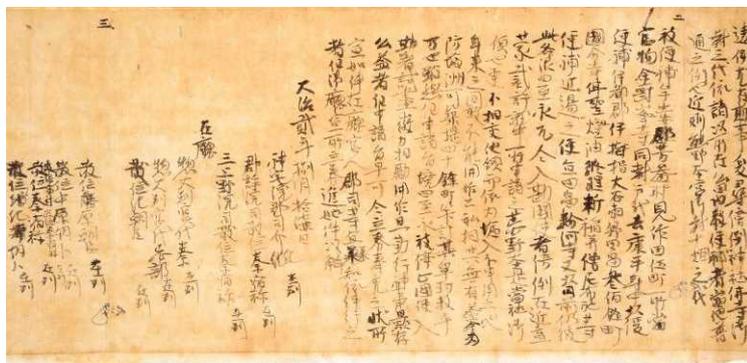
和歌山県教育委員会蔵 古墳時代

展示の見どころ2 弥生時代から現代まで約2,500年間の耕地開発の歴史を紹介。

水田稲作が伝わった弥生時代から現代まで、どのように水田が開発されたのか、その歴史を紹介します。現在も流れる宮井用水や水田の区画がいつできたのか、現在まで続く歴史を実感できます



宮井用水原形とされる溝 古墳時代



紀伊国在宁官人等解案 和歌山市立博物館蔵 平安時代



水門ハンドル 紀の川左岸水利組合蔵 現代

展示の見どころ3 宮井用水をめぐる様々な歴史が交錯。

1500年以上も続く、宮井用水は様々な歴史を持ち、その時々々の歴史の証人となりました。羽柴（豊臣）秀吉の行った日本三大水攻めの一つ「太田城水攻め」にも宮井用水は使われました。また、紀州流を大成し、関東に伝えた井澤弥惣兵衛も宮井用水にかかわっています。宮井用水を通じた新たな発見も見どころの一つです。



総光寺由来并太田城水責図 惣光寺蔵 江戸時代
〔和歌山市指定文化財〕



井澤弥惣兵衛が築いた亀池遠景 現代



紀州流を大成した井澤弥惣兵衛
海南市教育委員会蔵 現代

展示の見どころ4 全4回の特別展シンポジウムを開催します。

特別展会期中に特別展シンポジウムを全4回開催します。展示内容に関連する宮井用水と耕地開発について考古学、文献史学、歴史地理学の研究者を講師とし、研究成果をわかりやすく伝えます。

- ・特別展シンポジウム① 「紀伊国造が築いた岩橋千塚古墳群と宮井用水」 令和4年10月16日（日）
- ・特別展シンポジウム② 「古代・中世における和歌山平野の開発」 令和4年10月23日（日）
- ・特別展シンポジウム③ 「太田城水攻めと宮井用水」 令和4年11月6日（日）
- ・特別展シンポジウム④ 「ここまでわかった古代の土木技術」 令和4年11月20日（日）

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催行事に変更が生じる場合があります。その際は、当館ホームページでお知らせします。